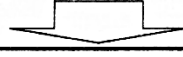


第2学年 組 数学科 単元 「図形の調べ方」

指導者

めあて：星形の図形のまわりの角の和を、色々な方法で求めてみよう。



学習活動・内容	手立てや留意点	評価の方法
<p>証明とそのしくみ 根拠となる事柄をもとにして、角度の問題を説明する。</p>	<p>・星型の多角形の角について、これまでの既習内容（対頂角・同位角・錯角・多角形の内角・外角の和・・・）を用いたり、補助線をひくことで求める経験を通して、考えを導く方法を見つけさせる。</p>	<p>学習プリントに1つ以上の求め方を書くことができる。 定期考査で、関連する問題を解くことができる。</p>
<p>この時間に、特に生徒に思考・判断・表現させたい内容 星形の先端にできる角の合計が180°になることを、既習事項をもとにして様々な方法で見つけさせる。その際、個人で考える時間、少人数で考える時間、全体で説明する時間を設定する。また、考えを説明させるときに、どのような考えを用いたかを確認しながら説明させる。説明をさせた後、どのような方法を使ったかを単純な言葉で表現させ、今後の学習に活用できることを確認させる。</p>		
<p>まとめ 今日学んだ方法（平行線をひく、内角の和を用いる、三角形の外角の関係を使う、一か所に角を集める・・・）を、今後出題される課題に活用する。</p>		

参観者から

- ① 工夫した手立てが有効（効果的）であったか
- ② 授業者が望んでいる方向で考えを深めることができたか
(課題の内容・提示方法などアドバイスがあれば記入してください)

参観者名 ()